



1. 体育祭 (体育科より)

5月13日(土)に体育祭を行いました。今年のテーマは体育委員で話し合い、獅子が奮い立ち、猛進するように力強い体育祭にしようということで、「獅子奮迅」となりました。

今年は例年よりも約1ヵ月早い実施でしたが、体育委員長はじめ、各学年の体育委員は毎日のように集まり、新種目を追加したり種目のルールや得点の確認をしたりして、生徒たち自身の手で体育祭を作り上げました。

また、今年は1年生が各団長を務めることになり、先輩たちが協力して各団をまとめる新たな姿を見ることができました。競技に教員が参加するだけでなく、ご家族の方々にも参加していただき、帝京ロンドン学園らしいアットホームな体育祭となりました。体育祭の目玉でもある学年創作ダンスでは、3年生が人数の少ない中でも一人ひとりにあったオリジナルの動きを取り入れ、体育祭テーマに沿ったダンスを作り上げ、昨年に続き見事2連覇を達成しました!! 各種競技では、白組が大差をつけて、総合優勝しました。

後夜祭では生徒会が中心となり、BINGO大会や生徒のDJタイムやカラオケなどの企画などを行い、充実した1日を過ごすことができました。



2. 生徒総会（生徒会より）

5月1日（月）のLHR時にシアター3に全校生徒が集まり、生徒総会が行われました。生徒会からは校歌プロジェクトなどの報告がありました。また、各学年の代議員、各委員会の委員長からの今年度の活動報告がありました。生徒会を中心に、より充実した学校生活になるようみんなで協力してほしいです。



3. チャールズ三世戴冠式 Tea Party（渉外課より）

英国では King Charles III の戴冠式(Coronation)が Westminster Abbey で5月6日（土）に行われ、何万人もの一般の人々が小雨の降るロンドンに集まりました。7日（日）には英国各地で Street Party やコンサートが開かれ、8日（月）は祝日となり、The Big Help Out と呼ばれる全国規模のボランティアイベントが開催され、King Charles III の戴冠を英国全土で盛大に祝った3日間になりました。本学園では、8日（月）は平常授業日でしたが、午後に学園全員が食堂に集まり、戴冠式の録画をビッグスクリーンで見ながら Coronation Tea Party を開き、一緒にお祝いをしました。1年生にとっては初めての English Tea Party となりました。



4. 部活動スタート（生徒会より）

体育祭の時期が約 1 か月早まったことから、放課後の部活動の時間を利用して、体育祭の準備をしていましたが、体育祭、中間考査が終わり、5月 25 日（木）から部活動が始まりました。今年度は以下のような部活動が実施されます。

人数や季節等の環境を鑑みて柔軟に活動できるように、今年度は部活動名や活動内容を一部変更しました。

部活動の目的

- (1) スポーツ や芸術、学習等を通して、心身の健康を学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養を育む。
- (2) 英国の地を生かした活動や自身のキャリアに繋がる経験を通して、自身の見聞を広げる。

部活名	顧問（下線が主顧問）	場所	内容
テニス部	<u>乳井</u> 、初田	テニスコート	テニスの基礎練習、ラリー練習、試合練習。練習以外では、立教英国学院や近隣のテニスクラブとのフレンドリーマッチ。帝京ウィンブルドン選手権実施。
アクティビティ部	<u>中本</u> 、木村	体育館	みんなで集まって、楽しく交流する。日替わりアクティブ活動。
クリエイティブ部	<u>山崎</u> 、高野	C6	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の希望に沿って創作活動（絵画、造形、写真、イラスト、詩、作曲、プログラミング等）を行う。 ・緑舎祭で作品を展示する
学習部	<u>山下</u> 、本間	C7、理科室	静粛な空間で自学自習（質問や面談、英会話などは部屋の外で対応）。臨時的に生物標本作り、植物の育成なども行う。

5. 水曜コース 花見イベント（水曜コース担当より）

4月 26 日（水）に学園から車で 30 分ほどのところにあるクリブデン公園に行ってきました。この場所はナショナルトラストの施設の一つで、自然豊かで広大な敷地と由緒ある屋敷があり、3 年生が昨年度職場体験に行った場所でもあります。当日は近隣住民の方に対し、生徒が浴衣の着付けと茶道体験を企画しました。着付けチームと茶道チームに分かれて、英語で説明をしながらデモンストレーションをしたり、お菓子を食べながら雑談をしたりしました。6 月に行われる Japanese Day では、今回の経験を生かし、よりよくできるよう準備を進めています。



6. 現地校との交流会 (渉外課より)

St Bernard's students came to visit as part of an ongoing language and cultural exchange between the schools. Our students gave them a tour of the school and then held a team quiz in the dining hall. Everyone had a lot of fun and the students got to know a little bit more about one another.

St Bernard's school invited our students to play cricket. The students enjoyed learning how to play a new game and they also got to try a lot of classic British cakes and biscuits: The jam tarts were a big hit!



7. 英語探求授業 ブルーベル鑑賞 (英語科より)

今学期の英語探求の授業では、「学園がある地域は、どんなところか」について調べ、学習しています。この地域はグリーンベルト地帯に指定され、環境保護の観点から自由に建物を建てられない場所がたくさんあります。5月になると、ブルーベルの花がまるで紫の絨毯のように群生している美しい森 (Hedgerley 村) があり、1・2・3年生の授業で、それぞれ散策に行きました。この時期だけしか見られない美しい自然の景色を見ることができ、生徒たちは、歓声をあげていました。

引き続き1年生は野生植物、2年生は近隣の公園、3年生は野鳥について調べ、学習をしています。後半は、2年生が公園のプレゼンテーションをして、みんなが選んだ公園に出かける予定です。探求学習を通して英国への興味を深め、新たな体験や感動を味わいながら、学習を続けていきます。



8. Weekend Homestay (渉外課より)

5月5日(金)～7日(日) 近隣のホストファミリー宅にホームステイした生徒の報告です。

Sensational Homestay

1st day

When I went to the host family's house, a girl welcomed me and guided me to their house. What's more, her mother and brother welcomed me. After that, we watched MOANA. It was so good, and they were so kind because they often asked me "Would you like something?" so I was glad.

2nd day

We held a party for the Coronation, and I made scones and a pineapple cake with them. It was so fun because I ate some cupcakes and sandwiches with them. What's more, I roller skated on the ground in the gym. It was extremely good.

That night, I watched FROZEN with them. It was very exciting.

3rd day

I went to the park by bike, and I watched animations that were like cartoons with them. And we sang African songs as well.

As I was leaving, they gave me some snacks to take back to the dormitory. I was happy, but I felt sad to leave them.

I could have conversations with them, and I enjoyed doing the homestay which was a lovely weekend, and it was a good experience for me, so I want to do the homestay again.



9. 各コースより

サッカーコース

サッカーシーズンは終わりましたが、引き続き FAB で活動をしています。シーズンオフでは、フィットネスの練習が多くなっています。来シーズンに向けての準備が、すでに始まっています。2年生はプレー中のコミュニケーションの機会が増え、英語にも慣れてきています。

また、地域のクラブチーム（U-18）のトライアル（セレクション）に挑戦している生徒がいます。合格し契約が成立すれば、さらに活動の幅が広がります。

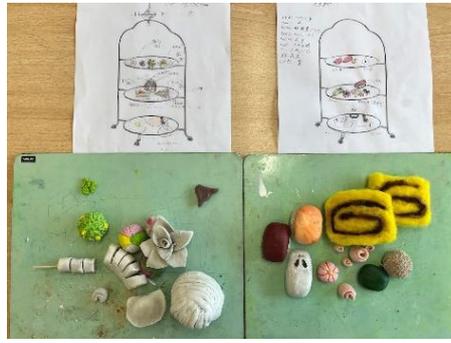


アートコース

ISCA のファッション & テキスタイルの授業では、編み物に挑戦しました！編み物初体験で苦戦している生徒もいましたが、そんな生徒にはパトリシア先生が個別に指導してくれます。アート & デザインの授業では、クレパスを使って色の勉強を行いました。色のグラデーションを完成させた後は、セザンヌの絵画の模写を通して、色の混ざり具合を勉強しました。

その他の曜日では、デッサンやオリジナルアフタヌーンティーの制作などを行っています。教室棟の廊下の掲示板には、先月訪れた Cliveden での写真課題や、「境界線とは何か？」「写真と絵画の魅力は何か？」についての文章課題が掲示されています。





1 0 . Teikyo IBDP Letter (IBDP Coordinator より)

Teikyo IBDP Letter 1

0: The Beginning...

帝京ロンドン学園は昨年の12月に、国際バカロレア機構（スイス・ジュネーブに本部）から、国際バカロレア教育（以下、IB教育）プログラム実施の認可を得ました。それによって今年度からIB教育を学ぶ「IBディプロマプログラム（以下、IBDP）」が始まります。グローバルスタディーズコース（以下、GSコース）の生徒たちは、諸条件はありますが、1年生の3学期から「IBDP」を選択することができます。

しかし、これはGSコースの生徒たちだけに関係がある話ではありません。IB校になるということは、帝京ロンドン学園「全体」がIBコミュニティとして認められた、そしてこれからIBワールドスクールの一員として世界からみられることとなります。したがって、IBDPを選択しなくても、学園の生徒は「全員」、世界のIBコミュニティの一員なのです。例えば、水曜コースの活動は、IBDPのコア科目の1つである「CAS = 創造性・活動・奉仕」の一環と言えるでしょう。（詳しくは次回以降掲載）また、昨年は生徒会が中心となり、「10の学習者像」を学園全体に浸透させる活動も行いました。このように、「自分はIB教育とは関係ない」と思っている生徒も実はIB教育に関わり、IBコミュニティの一員として学園生活を送っているのです。

本学園では、今年度の1月からIBDPの授業が始まります。しかし、実際には「IBってなんだろ?」と思う生徒も少なからずいるでしょう。これからはこの『Teikyo IBDP Letter』を通して、「IBとはなにか」、「帝京ロンドン学園のIBDP」などについて連載していこうと思います。実際にコース選択のできる現1年生だけではなく、2、3年生にも関係のある話をしていく予定です。

1 : What is an IB education?



IB教育は、非営利団体教育財団である国際バカロレア機構が提供する国際的な**世界共通**の教育プログラムです。

IBには「**使命**」があります。

「国際バカロレア（IB）は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探求心、知識、思いやりを 富んだ若者の育成を目的としています。（中略）IB のプログラムは、世

世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。」

(国際バカロレア機構「国際バカロレア (I B) 教育とは ? 」)

この使命を実現するために、I B は「10の学習者像 (IB learner profile) 」というものを掲げて、児童・生徒たちの学ぶ姿、目指すべき姿を示しています。



①探究する人	⑥心を開く人
②知識のある人	⑦思いやりのある人
③考える人	⑧挑戦する人
④コミュニケーションができる人	⑨バランスのとれた人
⑤信念をもつ人	⑩振り返りができる人

帝京ロンドン学園の I B D P で学ぶときには、生徒は常にこの学習者像を意識し、学習

者としての資質を身に付けていくことが求められます。また、'学校は、学校のコミュニティーが「IB の学習者像」を認識し、国際的な意識と IB の使命を具現化することの重要性に対して献身的に取り組むようにすること' (国際バカロレア機構『プログラムの基準と実践要綱』) と明記されており、学校コミュニティー (生徒のみならず、保護者や教員も) 全体が、この I B の学習者像を体現した学習文化をもつことが求められます。

2: For what?

ところで、みなさんは社会に出る際にどんな大人になりたいですか? 「お金だけ稼げればいいかな」「勉強だけでできればいいかな」「お金は全くなくても、人にやさしくさえできればいいかな」「自分ひとりで生きていくな」今あげた例は極端かもしれませんが、A I が普及してきている現代は、未来のことなど誰も全く予想できません。近年の世の中の風習や需要の変化が、新しい職業の誕生を加速させています。みなさんが 20 代になるころには、親世代が全く知らない、聞いたことのないような職業もどんどん生まれてくるでしょう。

そんな世の中で生き抜くために必要な力を本学園の I B D P では、今までみなさんが学んできた手法と違ったアプローチで、I B の使命を果たすべく学びを始めていくことになります。

突然ですが、みなさんに質問です。「知っている」とはどういうことですか? なぜそれを知っていると言えるのか、「どうやって」知るのですか? 'このような授業をみなさん今まで経験したことありますか? これは I B D P にある「知の理論」(T O K = Theory Of Knowledge と言います) の授業例ですが、今まで経験したことのない未知の世界を、I B プログラムに進む生徒は経験するでしょう。

では、一体どんなプログラムなのか? ! どうぞ期待! See you soon.

1 1. 校歌プロジェクト (生徒会より)

現在、生徒会では昨年度から引き続き行われている、校歌作りに取り組んでいます。今年度に入ってからミーティングでは、生徒や先生が考えた歌詞をもとに、メロディーに乗せて歌ったり、歌に合うように歌詞を工夫したりしました。私自身、校歌を作るという歴史に残るようなプロジェクトに参加することができて、とても嬉しく思っています。また、この校歌は1学期中の完成を目処に、進めていく予定です。

1 2. 寮便り

新年度が始まって1か月を過ぎ、疲れから体調を崩す場面もややありましたが、体育祭や中間考査への準備・各コースでの活動など、学園ならではの「忙しい」高校生活が本格化したこともあって、最近の寮生たちは、体調を崩している「余裕」さえなくなってきています。今月は特に、体育祭での学年ダンスに向けて、各学年とも連夜教室棟に集まって練習を重ねていたことが印象的でした。今でも時折、私たち寮スタッフの頭に、ダンスで使用した曲が流れます。



1 3. 保健室より

5月15日(月)~21日(日)は、Mental Health Awareness Week でした。この週は様々なテレビ番組でもメンタルヘルスについての話題が取り上げられ、イギリス全土でメンタルヘルス啓発のためのイベントなどが開催されました。

今年のテーマは、「Anxiety」。学園でも、各学年に特別授業を設け、自分自身の心の波の乗り越え方を振り返ったり、新たな対応方法を学んだりする時間を持ちました。1年生は、家庭科の時間で緑の抹茶カップケーキを焼き、これらを販売して、Mental Health Foundation への寄付金£61.5 を売り上げました。また、18日(木)には Wear It Green Day として、メンタルヘルス啓発のために、希望者が緑の服を着たり、緑の物を身につけたりしてイベントに参加しました。

生徒たちからは、「普段はあまり『メンタルヘルス』ということ意識することがないが、自分たちの日常生活に常にかかわることなので、話をする大切さを感じた」という言葉も聞かれました。





14. ホームステイのお知らせ (英語科より)

夏季休暇中に、語学学校での研修、ホームステイ、pre-IB Summer Campに参加を希望する生徒は、担任または英語科の教員までできるだけ早くお知らせください。



***** 今月の一枚 *****



何度叩いても
なかなか割れなかった
ピニャータ

編集後記

風薫る5月、深い緑に囲まれた学園を吹き渡る風が、爽やかさを運んできます。また6月のイギリスは1年で一番雨の少ない月であり、各地で薔薇がきれいに咲き誇ります。美しい季節の始まりです。(本間)

帝京ロンドン学園の Instagram はコチラ! ▶▶▶

